

株式会社高田屋
管理部長

佐藤 典子さん
さとう のりこ (53歳)



会社初の女性部長として抜てき
頼り頼られ変革期に立ち向かう

ため込まずに 相談する!

仕事に対する考え方やモチベーション

仕事を一つひとつ覚えて、自分なりのやり方を考えてクリアしていくことが達成感につながってきたと思います。

大事にしている考え方は、できるだけ相談すること。一人で考え込んでも良いアイデアは浮かばないですし、自分で勝手に判断してもあまり良い方向には進まないと思いますので、管理職になった今も“相談しやすい環境づくり”を心がけています。

処理しなければならない仕事は山積みですが、仕事の段取りを工夫することで、定時には「お疲れさまでしたー!」と、みんながスッキリした気持ちで帰ることができる職場にすることが今の目標です。

泣いて謝った経験も 今では学びに

キャリア形成に役立ったスキルや経験

こう見えて実は学生時代は引っ込み思案でした。それが今では仕事を通じて誰とでも話せるようになりました。それには働かずに培われた部分が大きかったと思います。

それと、若いときには仕事で大きなミスをしてしまい、泣いて謝ったことがあるのですが、その経験から早めに何でも相談することが身に付きましたね。

あとは、経理ができることで地域活動でも頼りにされることが多いです。

現在の仕事の悩み

今が一番大変な時期かもしれません。商材が増え、新しく覚えることが山積みです。入社した頃は手書きだったものが、時代が変わり、新規システムやアプリケーションを覚えなければいけないので、それにも苦戦しています。とは言え最近では若いスタッフが増えたのでいつもやり方を教わって、とても助けられています。



会社の変革期にあり、引き継ぎなどがふんばりどころ。

自然に触れて 無心に

プライベートと仕事の両立

家でガーデニングをするのが休日の楽しみです。いろんなお花を植えていますし、家庭菜園も始めました。草むしりをしてると無心になれるのが心地良いです。ちょっと嫌なことがあっても翌日には忘れて、ストレスを持ち越さないようにしています。あとは甘いものを食べてストレス発散ですね!



お休みの日はガーデニング。最近ではねぎなどの野菜にも挑戦中。

のりこさんの応援団



代表取締役副社長 高橋 隆太さん

期日などをきちっと守って仕事をする佐藤さん。子育ても終わられているので、会社と共に成長していただきたいと思って抜てきしました。

この2、3年、会社は商材を増やして業務変更の多い成長期にあります。後輩の面倒も見なければならぬポジションで今は大変だと思うのですが、佐藤さんなら乗り越えてくれると信じているので、どうかよろしくお願いします!



仕事以外のことも親身に相談にのってくれる本場に優しい上司!と部下の女性の皆さん

profile

- 18歳 高田屋薬店に事務職として入社
- 23歳 結婚
- 24歳 出産
- 52歳 管理部長に昇進
- 53歳 管理部部长に昇進



20代のころ、仕事にて。

周りの手を 借りながら

これまでの Story

“キャリアを築く”という強い動機があった訳ではなく、淡々と働き続けてきたのでこんなに長く働くとは想像していませんでした(笑)。

仕事を続けられるか少し不安になったのは、妊娠中に切迫流産になりかけて約1ヶ月休んだときです。幸い無事に産むことができ、産後1ヶ月で息子を義母に預けて仕事に復帰しました。

一番大変だったのは、息子が2~3歳の手のかかる時期に義母が病気に

なってしまう、保育園に預けなければならなくなったときですね。当時は子どもが多くて保育園に入園しづらかったのですが、幸運にも近くの保育園に入園できて事なきを得ました。夫や義姉たちにも助けられましたし、親戚に「頑張りすぎないで」と声をかけてもらい涙が出てきたこともあります。

振り返ると、義母の病気は私にとっても転機になりました。それまでは、仕事も家事も子育ても全部やらなければ!と意地になっていたところがあつたように思います。でも、このときを境に周囲に頼るようになりました。仕事を休むときも協力をお願いすることができるようになったからこそ、これまで仕事を続けてこられたのではと思います。

職場もとても協力的でした。子育て中は時間休をいただくなど、柔軟に対応してもらいとても働きやすかったです。週休1日だけで保育園のお迎えは夕方6時、と今思うとなかなか大変な状況でしたが、仕事を辞めようと思ったことは不思議とありませんでした。周りの助けがあつたし、社員旅行やレクリエーションなどの社内行事がたくさんあつて、職場が第二の家族みたいな雰囲気楽しかったのです。